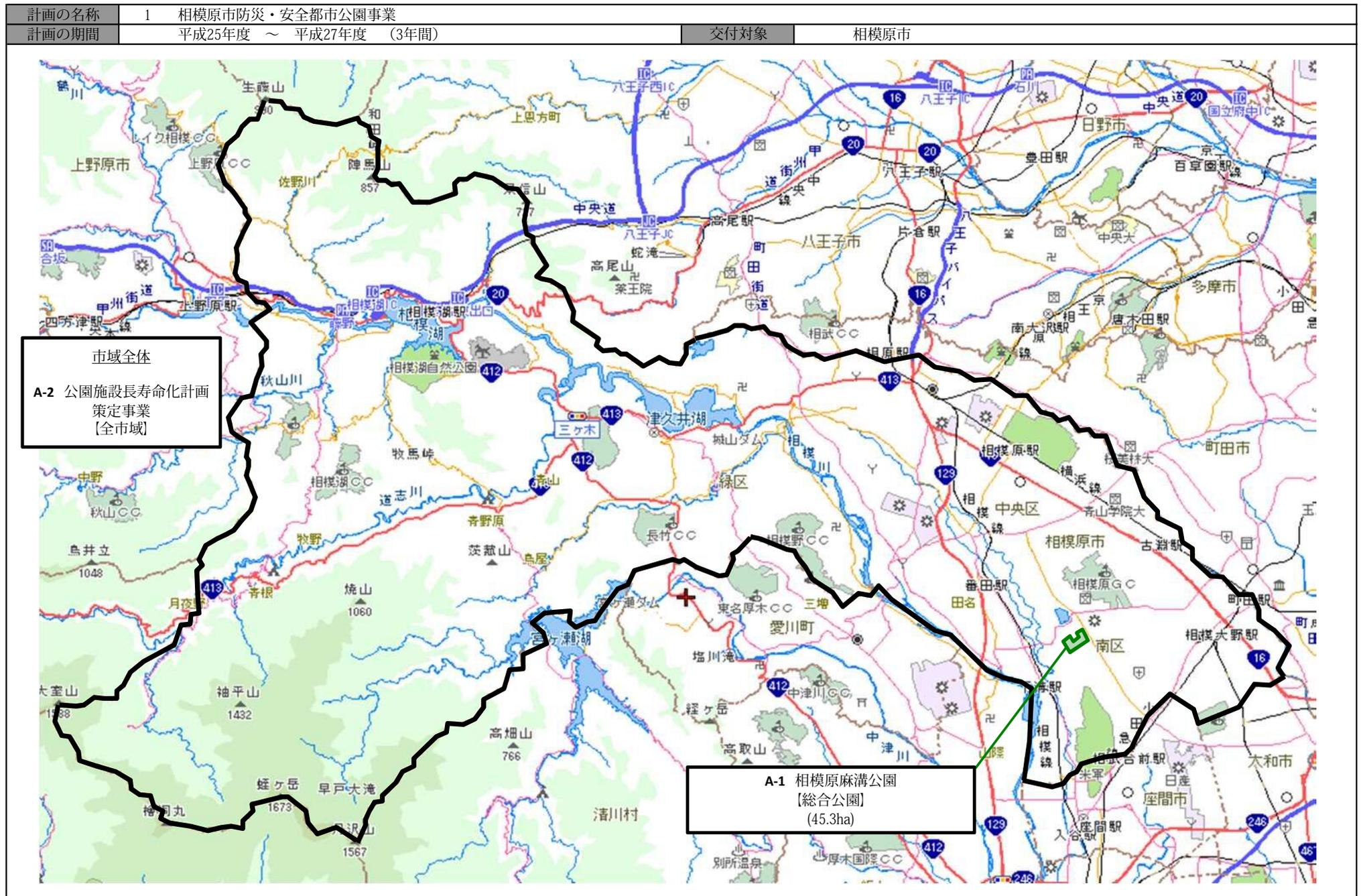


社会資本総合整備計画

平成 25 年 3 月 29 日

計画の名称	1 相模原市防災・安全都市公園事業														
計画の期間	平成25年度 ～ 平成27年度 (3年間)					交付対象	相模原市								
計画の目標	<p>本市では、「水源を育み 恵み豊かな自然を次世代へ」を基本理念とした、「相模原市水とみどりの基本計画」の推進に取り組んでいます。</p> <p>都市公園事業では、防災機能の充実と強化、健康づくり・レクリエーションの場の創出と地域コミュニティの形成、環境負荷の低減への貢献を基本方針として、より一層の整備の推進に努めます。</p> <p>相模原麻溝公園拡張区域において、競技場周辺の整備を進め、市民の広域避難場所として、また、緊急消防援助隊の進出拠点及び広域応援活動拠点としての機能拡充を図ります。</p> <p>さらに、公園施設の計画的な機能保全や安全性の確保、バリアフリーへの対応やユニバーサルデザインの採用等を踏まえた、都市公園における施設の長寿命化計画の策定に取り組みます。</p>														
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 相模原麻溝公園における 1人当たりの避難地面積 約11.3㎡/人 (H25) → 約15.4㎡/人 (H27) 住区基幹公園及び都市基幹公園の長寿命化計画策定割合 0% (H25) → 100% (H27) 														
定量的指標の定義及び算定式	<p>1人当たりの避難地面積を算出する。 = 供用開始済み面積 / 想定避難人口</p> <p>住区基幹公園 (街区・近隣・地区) 及び都市基幹公園における公園施設長寿命化計画の策定割合を算出する。 = 計画策定公園数 / (住区基幹公園数 + 都市基幹公園数) × 100</p>														
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,149百万円	A	2,149百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%					
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	都市公園事業 (相模原麻溝公園)	第2競技場・第6駐車場等 6.8ha	相模原市						2,096	
1-A-2	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	公園施設長寿命化計画策定事業 (全市域)	長寿命化計画の策定及び台帳への反映	相模原市						53	
合計													2,149		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

(参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 相模原市防災・安全都市公園事業 事業主体名: 相模原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応 (地域の課題と整備計画の目標の整合性)	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	<input type="radio"/>
②定量的指標の明瞭性	<input type="radio"/>
③目標と事業内容の整合性	<input type="radio"/>
④事業の効果 (要素事業の相乗効果等) の見込みの妥当性	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	<input type="radio"/>
②地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	<input type="radio"/>

事後評価書

平成30年3月30日

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 相模原市防災・安全都市公園事業		
計画の期間	平成25年度～平成27年度（3年間）	交付対象	相模原市
計画の目標			

本市では、「水源を育み 恵み豊かな自然を次世代へ」を基本理念とした、「相模原市水とみどりの基本計画」の推進に取り組んでいます。
 都市公園事業では、防災機能の充実と強化、健康づくり・レクリエーションの場の創出と地域コミュニティの形成、環境負荷の低減への貢献を基本方針として、より一層の整備の推進に努めます。
 相模原麻溝公園拡張区域において、競技場周辺の整備を進め、市民の広域避難場所として、また、緊急消防援助隊の進出拠点及び広域応援活動拠点としての機能拡充を図ります。
 さらに、公園施設の計画的な機能保全や安全性の確保、バリアフリーへの対応やユニバーサルデザインの採用等を踏まえた、都市公園における施設の長寿命化計画の策定に取り組めます。

計画の成果目標（定量的指標）

- 相模原麻溝公園における1人当たりの避難地面積 約11.3㎡/人（H25） 約15.4㎡（H27）
- 住区基幹公園及び都市基幹公園の長寿命化計画策定割合 0%（H25） 100%（H27）

定量的指標の定義及び算定式

1人当たりの避難地面積を算出する。
 = 供用開始済み面積 / 想定避難人口

住区基幹公園（街区・近隣・地区）及び都市基幹公園における公園施設長寿命化計画の策定割合を算出する。
 = 計画策定公園数 / (住区基幹公園数 + 都市基幹公園数) × 100

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)
約11.3㎡/人		約15.4㎡/人
0%		100%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,126百万円	A	1,126百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	---	---	---	---------------------------	------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

平成30年3月（H27からH28へ繰越している事業があるため）

市内部評価

公表の方法

ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	都市公園事業(相模原麻溝公園)	第2競技場・第6駐車場等 6.8ha	相模原市						1,073	
1-A-2	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	公園施設長寿命化計画策定事業(全市域)	長寿命化計画の策定及び台帳への反映	相模原市						53	
合計													1,126		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
														..		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園事業の整備により、本計画の成果指標である「相模原麻溝公園における1人当たりの避難地面積 約15.4㎡/人」を部分的に達成した。 ・長寿命化計画策定については、本計画どおり完了することができた。 												
定量的指標の実現状況		指標（相模原麻溝公園における1人当たりの避難地面積）	最終目標値	約15.4㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	相模原麻溝公園整備事業においては、計画途中に他事業との調整で優先せざるを得ない他の公園整備が入ったことから、当該公園の整備に一部遅れが生じる事となり、目標である約15.4㎡/人のうち約13.9㎡/人までの整備となった。残りの1.5㎡/人については、引き続き平成28年度からの新計画「相模原市防災・安全都市公園事業（防災・安全）」での完了を目指す。										
			最終実績値	約13.9㎡/人												
		指標（住区基幹公園及び都市基盤公園の長寿命化計画策定割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画の策定については計画どおり完了した。										
			最終実績値	100%												
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因											
			最終実績値													
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難地に指定している公園の整備により、公園面積が約43,800㎡増加した。 												
3. 特記事項（今後の方針等）																
相模原麻溝公園整備事業については、平成28年度からの新計画「相模原市防災・安全都市公園事業（防災・安全）」での完了を目指し、着実に推進する。																

(参考図面)

